

2018年度放課後等デイサービス事業者 自己評価 検討結果

事業所名: わんぱくクラブ三軒茶屋

検討日時: 2019年03月15日(金曜日)

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 別室に本棚やこたつを置き、静かに過ごせる環境を作っている。 廊下やトイレに手すりがあり、玄関や活動スペースはバリアフリーになっている。 子どもが自ら遊びたい遊びが行えるよう、玩具棚に色々な種類の玩具を置いている。 10年以上勤めているアルバイトスタッフが複数人いる。 近隣大学の授業の一環で学生を受け入れ、施設のことを知ってもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 設備上、玄関付近にエレベーターが備えてある。子ども達も使用出来てしまう為、常に、スタッフが玄関にいなくてはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> より子どもが選びやすように、定期的に玩具の種類を入れ替えていく。 職員が玄関に常駐するようにしている。 法人内で男性職員が増えるよう、広報活動を工夫する。 人材募集の為、掲示板等にポスターを置いてもらったり、在籍スタッフの知人等の紹介や、近隣の大学と交流を深めるなど積極的に呼びかけを行う。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 活動後に一日の活動を振り返る話し合いの時間を設けて、スタッフ間でその日の出来事を共有し、個別に記録に残して「いる」。 保護者の気持ちや思いを知る為、年に一度「保護者の話を聞く」学習会を行っている。 週のまとめ、月の目標などの職員会議で、定期的に保育を振り返る時間を設けている。保育中に起きたヒヤリハットについても確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 記録のまとめを行い、一ヶ月ごとのメンバーの様子を振り返り活動に活かしているが、一部のスタッフしか参加出来ないでいる為、情報共有が難しい。 仕事分担が偏り、実務効率化が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等の参加を行いやすいよう、活動後の話し合いの時間を有効に利用していく。 実務向上化に向けて、整理整頓を日ごろから行っていく。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で、一ヶ月の目標を話し合い決定する。アルバイトスタッフとも共有し、活動の内容の幅を広げている。 在籍メンバー内で流行しているものを取り入れたり、異年齢を意識した集団活動などを行っている。 施設間交流の実施に向け、計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動後に、活動の振り返りを行うがその後の検討を周知しきれていない。 アセスメントの前後を伝えてきていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事に向けての分担をしっかりと計画立てる。 メンバーの課題をスタッフ皆で共有し、ひとり一人の成長を周知する。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設の為、出張所内の定例会議へ参加し、地域の情報を共有している。 学校連絡会への参加を行っている。 半年に一度、個別支援計画を作成し、個別面談を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが関わっている機関との情報共有が十分に行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会をより良い時間にする為、一つ一つ丁寧に説明を行う。 法人内の他事業所と連携を取り合いながら交流の計画を練り、メンバーやスタッフの親交を深めていく。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> 苦情内容を確認し、職員間で話し合う時間を設け、共有している。 帰りの送迎の引き渡しの際、出来事や活動中の様子など保護者と話す機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 働いている方が多い為、保護者間の連絡が難しいことがある。 活動内容等を伝えるおたよりが、定期的に配布出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急の要望などについては、必要に応じて対応する。 苦情内容に関して、法人へ報告し、改善に向けて対策を話し合っている。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> 年に一度、出張所建物内全体の職員で非常時に備えた防災訓練を行っている。 年間の予算の中で災害時に備え、発電機や火災備品(食料・簡易トイレ)を常備している。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要とするメンバーの服薬を預かっているが、各服薬によって曖昧な保存管理になっている。 年間を通して、防災、地震、不審者対応の防災訓練が計画的に行えていない。 保護者へ避難対策のマニュアルが周知出来てない。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が、不特定多数の人が出入り出来る構造であるため、不審者対応に関して、基本マニュアルをつくる。 玄関先やエレベーターの設備に関して、対策や改善策を区などに相談する。